

平成 28 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 28 年 7 月 12 日（火）

開会：午後 7 時 00 分 閉会：午後 8 時 30 分

場所：笹尾東 4 丁目集会所

参加者：男 18 人、女 13 人 計 31 人

町職員：町長、副町長、総務部長、財政課、町民課、政策課

○懇談

男性

自治会の法人化の件ですが、私 20 年位前に役場に相談に行ったことがあるんです。そのときの相談は、この集会所は自治会が町から借りていて、土地は笹尾東小学校の門の東側から法面ずっとまわってきているんです。この法面を上っていくと途中で U 字溝があり、U 字溝の向こう側は多度町です。その U 字溝をまわりこんで道路まで約 3,800 m²あったんです。その土地をもらえないかと当時の総務課に言ったんですが、笹尾東 4 丁目だけそんなわけにはいかないと言われました。今回もし自治会で集会所を建て替えとなったときこの土地もいただけるんですか。

町長

結論からいいますと無理です。今土地が 3,800 m²と言われましたが実際は一筆 9,475 m²あります。緑地ですのでこれを全部というわけにはいきませんし、それを分筆して集会所だけを譲渡しようとしたら測量するのにとんでもない額のお金がかかります。我々も可能なら譲渡と思っはいるんですが、笹尾の 6 つの自治会は広大な緑地の中に建っているため全部測量して分筆しようとするものすごいお金がかかります。ですから、はっきり言って不可能なんです。申し訳ありませんが、ご理解をいただきたいと思います。

男性

今言われた緑地は、団地が開発されたときの開発緑地だと思うのですが、もう 30、40 年も経っているのですから、規制というのは解除されるんじゃないですか。

町長

解除はされないんです。緑地は緑地として残さなければいけない、絶対に無理だというのが県の見解です。

男性

（発言者に対して）その土地をこう使いたいという目的はあるんですか。自治会の財産にすると、将来ずっと維持もしていかなければならなくなる。

男性

そういうことも含めて有効利用を、自治会みんなでこれから考えていこうと。当時の役員会でそんな話もして、駐車場にしたりできないかとそんな話をしていました。

男性 国の事業で、3年間総務省から給料が出て地域に言って地域おこしをする人を派遣してもらうという地域おこし協力隊という制度があると思いますが、東員町は申請とかしたんですか。

町長 実は東員町は、名古屋に近すぎるということで対象範囲外なんです。いなべ市は現在11名います。年間400万の給料で11人ですから4,400万円国からお金が出て市のためにやってくれています。東京、名古屋、大阪のいわゆる三大都市圏近辺は対象外なんです、東員町はちょうど境目なんです。

男性 以前三重県知事だった北川さんが行政は「さわやか」でやりましようと言っています。「さ」は住民サービスのさ、「わ」はわかりやすくのわ、「や」はやさしく、「か」は改革、改善だそうです。町長から職員に対してこういう哲学で仕事をしなさいというようなことはありますか。

もう1つは、去年の町政懇談会で各自治会から色んな意見がでていていると思います。例えば、体育施設の予約をインターネットで出来ないかとか、ホームページをもっと見やすくして欲しいとか、町会議員とも懇談会をしてみたいとか、でしたがその結果がどうなっているのかお聞きしたいです。

町長 哲学というか方針ですが、私は出来るだけワンストップサービスをするべきだと思っています。役場の手続きは色々あると思いますが、これはあっち、それはあっちとたらい回しはやめて、出来るだけ住民さんに動いてもらわず、住民さんのところに各部署の職員が来るようになってきていると思います。出来るだけ住民さんに煩わしくないサービスをするように言っています。それが一番わかりやすく、優しいサービスだと思っています。改善というのは、私が5年前に就任したときに若手職員を十数人ピックアップして、庁舎内の改善点を2ヶ月かけてやってもらいました。そうしたら19項目でできました。全部が全部できるものではなかったのですが、かなりの数のものをそれに従って改善させていただきました。わかりやすいのはカウンターだと思います。照明もLEDに変えて物理的に明るくしました。また、正面玄関がごちゃごちゃしていたのをだいぶすっきりさせていただいたと思います。そういう若い人の目線やお客様の目線を大事にしてねということを職員に言っています。皆様にも、これからも気づいたことをあげて頂いて改善につなげていきたいと思っています。

副町長 体育施設予約の関係ですが、教育委員会の方で検討させていただきました。周辺市町に聞き取りをしたら、利用者が大変少なく、費用対効果が低いとのことでした。見積もりもとったのですが、施設予約システムの構築に76万円くらいかかり、ランニングコストは年間86万円くらいかかるとのことでした。現在予約照会システムだけで130万円かかっていますので、足すと年間220万円近くのコストがかかってきます。コンパクトな町ですし、使用料を払うのに来ていただいていますので、それほど

効果がないのではないかと考え断念いたしました。

男性 今の若い職員は、大学で情報処理とかやっていますので、業者に委託しなくても簡単なシステムくらいなら出来ると思うんですよ。そういうところを利用してやっていただければいいかと思います。

あと別で聞きたいことがあるんですけど、町長の提案箱って年間何件くらいありますか。

町長 年間 30～40 件くらいでしょうか。

男性 それにはそれぞれ答えていただいていると思うんですが、町民はどんな質問があるのかとかどんな答えだとか分からないんですよ。

町長 質問に対して回答できるものに関してはホームページでこんな質問があつてこういうふうに応えました、とオープンに回答するようにしています。余談ですがつぶやきポスト(提案箱)も若手の提案で作らせていただきました。

男性 私はそれをさらに進めて、そういうのをいつまでしますとか、やりませんかホームページ上で答えたり、住民がちょっと疑問に思ったらホームページで検索したりとか、もっとインタラクティブ(対話・双方向の意)でいけると考えています。つまり、住民と行政を結ぶ双方向のシステムをつくることを検討して欲しいと思います。

総務部長 どんな質問があつたとか、どういうふうに応えたとかを見られるようにして欲しいと同じ様に議会でもご意見いただきまして、タイムリーには難しいので、半年に1回程度のペースでホームページに掲載するというようにしています。

男性 町長の話の中で水道料金の値上げの話がありましたが、民間でいうところの企業努力、支出の増を抑えるということをしていると思うのですが、町は具体的にどういう施策をたてて負担増を抑える努力をしているのかというのが1つ。

2つ目は、地方創生総合戦略の基本目標の3と4についてももう少し具体的に説明をいただきたいと思います。

3つ目は、火葬場の横で盛土を盛んにしていますが、どういうふうに進められているかを説明していただきたいと思います。

町長 まず水道の話ですが、このままだと給水原価が水道料金の収入を平成30年くらいに超えていきますので、水道料金を上げさせていただくことになります。東員町は現時点で全国でも何番目かに安いくらい非常に安い料金設定になっていて、現時点でかなり企業努力をさせていただいていると思っております。また、上げる時には改

めて説明にあがりたいと思いますのでよろしく願いいたします。

基本目標3の「交流・にぎわい」を生み出すですが、1つは東員駅付近の開発です。東員駅南側の開発をしますと、駅、役場、中部公園、体育施設が有機的に繋がりますので、人が集い交流が進んでいくと考えています。また、資料の地域ブランドですが、長深の耕作放棄地や空いているガラス温室があります。そういうものを有効利用し、収穫したものを加工して特産品をつくり販売するという取り組みを現在進めています。もう1つ市民活動支援センターが、総合文化センター2階に開設されました。これで町民の皆様の自主的な活動を支援していきたい。これからは、行政が考えることよりも、住民の皆様が自主的に考えていただいたことのほうが、発展性があると思っていますのでそういったことを支援していきたいと思っています。これらのことが、基本目標3でやっていきたい具体的なものです。

基本目標4の「快適な生活の出来るまち」づくりですが、笹尾西1丁目の保育園の跡地を住宅販売企業3社に売却し、3社共同で若い人に魅力あるまちづくりのための開発をしてもらっています。この開発だけではなく3社には、東員町の空き家対策も考えてもらっています。例えば、空き家の持ち主がもう家を使わないというのであれば、3社が中心となってリフォームして売っていこうという話もしました。この3社は近辺のネットワークを色々もっています。東員町はまだまだ需要が高いという考えを持って頂いていて、リフォームしたらお客様をつれてきますというような話をいただいております。行政だけではどうにもなりませんので企業の力も借りて人や家が循環するような仕組みをこれから作っていききたいと思っています。

バスの運行に関しては、10月から皆さんの利便性が良くなるようにルートを改正させていただきます。イメージとしては以前のルートに近いようになります。ただ、これからバスでも乗るのがつらいという人が出てくると思います。そのためバス以外の移動の手段を模索しています。この10月からひとつ実験をします。社会福祉協議会が持っているワゴン車を月に1回中上自治会に貸し出します。中上でボランティアで運転してくれる人を募集していて、そのボランティアさんに移動手段がない人をイオンまで送迎してもらいます。とりあえず最初はイオンにしていますが、そのうち病院に行きたいとか出てくるかもしれません。また、別の自治会で手をあげてくれるところがあるみたいなので、一緒に実験参加していただけるかもしれません。これらの実験を通してどのような形態が一番いいのかを検証していきたいと思っています。この実験は、社会福祉協議会が中上で地域座談会をしているときに住民さんから意見をいただいたものから実現しました。ですから、皆様も色んな意見をだしていただければそれが実現するかもしれませんのでぜひご意見をいただければと思います。

火葬場の盛土は、行政の工事ではなく民間の工事なんです。笹尾西4丁目でも問題になっていまして、笹尾西4丁目自治会と事業所が、盛土の角度や土ぼこりが飛ばないようになどの協定を結んでいます。民間の土地になるものですから、最終的にどうなるかは行政でも把握出来ていません。

男性 はぎ東公園の南側に保育園跡地があると思うんですけど、あそこを笹尾東4丁目の会合とかに使えるのか、使えないのか。使えるとしたらどんなことがネックになってくるのか。それから笹尾東小学校の北側の階段がロープしてあって立入禁止になっているが、学校のグラウンドは開放されているのですか。地域の人があそこで運動してもかまわないんですか。

町長 保育園の跡地ですが一部を学童保育が使用していて、残りを社会福祉法人いずみが使っています。4,5年前までは学童保育のみの使用でしたが、社会福祉法人いずみから使用の要望があったので、どういうふうに使いたいのか聞き取り調査をして使用許可を出しました。その時に学童保育側と、お話をさせていただいて、御理解いただいていずみに入ってもらいました。

 空いているところがあれば、私は使ってもらってもいいのかな、と思っています。

男性 学童保育は平日だけですよね。休日はやっていない。我々が使用したいのは日曜日なんです。そういうときに借りられるのであればということなんですけども。教育委員会にお願いに行くんですけども、今までいい返事もらったことがない。唯一毎年5月にやる焼きそば・ゲーム大会のときトイレだけ使わせてもらっています。使っているならともかく、休みで使っていないなら使わせてくれてもいいと思うんですけど。

男性 実際のところ社会福祉法人いずみがどれだけ使用しているのか。お宝一番館の近くにも建物を借りていると思うんですけど、そこに統一してもらって保育園跡地は開放してもらったらいいいのではないかと私は思っています。

町長 やっていることが別なのでそれは無理なんです。いずみは、空いている教室を自治会が使用するのは異論ないと思うんですけど、学童保育さんには一度お話をさせていただきたいと思います。

男性 学童の指導員さんが言うには、子ども達がいるのに一般の方が入ってくるのは困ることなんです。だから日曜日は使っていないからいいんじゃないかと思うんです。それを町長から聞いてもらわないと、我々から言ってもいつも返事は一緒なんです。草取りとか掃除だけは我々やらせてもらっていますよ。

町長 私は空いているなら使ってもらってかまわないと思うんですよ。これはちょっと預からせてください。事実関係の確認をします。

男性 使用の許可は町が出しているんですよ。だったら町がどこを使うかの振り分けが出来るんじゃないですか？

町長 学童保育は父母会が運営していますので、すいません、ちょっと持ち帰らせていただいて事実関係の確認をします。

町民課長 学校のグラウンドの関係ですが、通常はスポーツ少年団が使用していただいていると思いますが、自治会行事でお使いになられる場合は、学校に申請いただいて、スポーツ少年団が使っていないときであれば問題ないと思います。ただ、あくまで学校施設ですので、翌日生徒達がつつがなく使えるようにしなければなりません。ですから、常に自由に開放するというのは難しいと思います。

男性 全国どこでもそうなんですか。どこかで校庭開放しているところがあったような気がしているんですが。

町民課長 正式に行おうと思えば申請をしていただかないといけません。しかし実際は、子どもが友達同士でキャッチボールするとかよくある話ですので、そういったレベルであれば構いませんが、おおっぴらにやる場合はやはり申請をしていただく必要があると思います。地域の方が散歩の途中で少し使うとかは支障はないと思います。

副町長 学校によって違っていることもあるかもしれませんので持ち帰らせていただいて確認させていただきます。

男性 町の財政状況についてお尋ねします。広報の5月号に一般会計、特別会計あわせて143億円とでていました。この中で大きなウェイトを占めているのは社会保障費です。これから人口は減少して高齢化が進むということで医療費も増えてくると思います。話の中で人口増加のための施策を色々かかいましたが、私が考えるに、今度リニアが名古屋で開通したらオフィスビルなんかで10万人くらい人が増えると書いてありました。その人達に東員町に住んでもらうために魅力ある政策をしてもらう必要があると思うんです。町としてこれからの社会保障費の増についてヴィジョンみたいなものを伺いたい。

町長 少なくともあと5年くらいは、住宅開発があればすぐに埋まっていくだろうと思います。新築住宅だけでなく、空き家のリフォームも含めて東員町に住んで頂ける人を増やして行きたいと考えています。東員町は子育て支援に力を入れています。ありがたいことに40代以下の若い人が、毎年人口の2.5%くらい転入していただいています。これをしばらく続けて行きたいと思います。ただ、団塊の世代の方の人数がかなり多いので帳尻はあいませんが、将来を考えるといつぱんにどかっと増やすよりも少しずつ若い人に入っていただいたほうがいいと思います。近隣市町は子どもの数は減っていますが東員町は増えています。出生率は低いですが、子ども連れの家庭が転入してきていただいています。子育て支援を手厚くやっているから東員町に来て頂いて

いると思いますので、これからも子育て支援に力を入れていきたいと思います。

もう1つ。私は高齢者が元気に活躍する健康長寿のまちを作りたい。東員町に住めばこんな元気な高齢者になれるんだ、というのを皆さんが示していただければ若い人は入ってくるだろうと思っていますのでよろしくお願いします。